

2010年度 第1四半期決算

IR 補足資料

- 連結業績に与える影響が大きい会社及び
主要海外現地法人の決算概要 p1
- セグメント別補足資料（業績概要） p2-5
- オペレーティング・セグメント情報（補足）
（資源・化学品、生活産業・建設不動産事業部門） p6

連結業績に与える影響が大きい会社及び主要海外現地法人の決算概要

2010年 7月 30日
住友商事株式会社

単位:億円 (億円未満四捨五入)

会社名	持分比率 (2010年6月末)	事業内容	持分損益	
			2010年度 第1四半期 (2010/4-6)	前年同期 (2009/4-6)
<金属>				
SC PIPE SERVICES	100.00 %	米国における鋼管製造・販売会社等への投資	4	5
ERYNGIUM ※	97.30 %	油井機器用金属部品の在庫・加工を含むサブライ・チェーン・マネジメントサービスを行うHOWCO groupの持株会社	4	10
ASIAN STEEL	100.00 %	東南アジアにおけるスチールサービスセンター	3	△ 1
住商メテックス ※	100.00 %	非鉄金属製品、建材、住設配管資材等の販売	3	1
<輸送機・建機>				
SUMMIT OTO FINANCE ※	99.60 %	インドネシアにおける自動車(二輪)ファイナンス事業	20	11
OTO MULTIARTHA	83.86 %	インドネシアにおける自動車(四輪)ファイナンス事業	16	8
住友三井オートサービス	60.00 %	自動車及び自動車関連商品のリース	11	3
<インフラ>				
MOBICOM	33.98 %	モコルにおける移動体通信サービス事業	4	3
PERENNIAL POWER HOLDINGS ※	100.00 %	米国における発電所の開発・保有・運営	3	3
<メディア・ライフスタイル>				
ジュービターテレコム (注2)	40.14 %	CATV局の統括運営	47	20
ジュービターショップチャンネル	99.60 %	テレビ通販事業	22	24
住商情報システム	60.55 %	情報システムの構築・運用サービスの提供及びパッケージソフト・ハードウェアの販売	6	1
サミット ※	100.00 %	スーパーマーケット	5	7
アスミック・エース エンタテインメント	76.59 %	映像ソフトの企画、製作、配給、販売	△ 0	△ 7
<資源・化学品>				
SUMISHO COAL AUSTRALIA	100.00 %	豪州における石炭事業への投資	90	9
ヌサ・テングラ・マインク (注3)	74.28 %	インドネシアBatujau銅・金鉱山プロジェクトへの投融資	52	0
ホリビア銀・亜鉛・鉛事業会社2社 (注4)	100.00 %	ホリビア銀・亜鉛・鉛鉱山操業会社及び精鉱販売会社への投資	30	5
北海油田事業権益保有会社2社 ※	-	英領・ノルウェー領北海における石油・天然ガスの開発・生産・販売	11	△ 3
SC MINERALS AMERICA ※	100.00 %	米国・モンソー銅鉱山/ボコ金鉱山、フリ・ラカンテリア銅鉱山への投資	11	2
住友商事ケカル ※	100.00 %	合成樹脂・化成品の国内・貿易取引	6	2
SUMI AGRO EUROPE ※	100.00 %	欧州における農薬販売	5	6
SMM CERRO VERDE NETHERLANDS	20.00 %	ペルー銅鉱山への投資	5	1
PETRO SUMMIT ※	100.00 %	原油・石油製品のトレッド及びタンクを利用した重油のブレンディング・在庫・販売	4	11
エルエスシー・ジャパン	50.00 %	LNG(液化天然ガス)事業及び関連投融資	4	1
THE HARTZ MOUNTAIN ※	100.00 %	米国におけるペット用品製造・販売	2	1
スミトロニクス	100.00 %	EMS事業	1	0
CANTEX ※	100.00 %	塩化ビニルパイプ製造・販売	△ 0	△ 6
ORESTEEL INVESTMENTS (注5) ※	49.00 %	南アフリカにおける鉄鋼原料資源会社への投資	-	-
<生活産業・建設不動産>				
TBC ※	100.00 %	米国におけるタイル卸・小売事業	14	5
バナナ事業会社2社	-	青果物の輸入販売	7	16
SUMMIT RURAL (WA) ※	100.00 %	西豪州における肥料輸入内販	△ 3	△ 27
<新産業・機能推進>				
三井住友ファイナンス&リース ※	40.00 %	総合リース	42	21
SUMISHO AIRCRAFT ASSET MANAGEMENT ※	100.00 %	航空機オペレーティング・リース事業	1	1
<海外現地法人>				
米国住友商事	100.00 %	輸出入及び卸売業	46	30
欧州住友商事ホールディング	100.00 %	輸出入及び卸売業	17	18
アジア住友商事	100.00 %	輸出入及び卸売業	12	12
在中国現地法人9社	100.00 %	輸出入及び卸売業	6	6
オーストラリア住友商事	100.00 %	輸出入及び卸売業	4	△ 12

(注1) ※印を付した会社の持分比率及び持分損益は、他社への持分を含めた全社合計の比率及び金額を表示しております。
(注2) 当社はジュービターテレコムが発行する普通株式を対象とした公開買付けを実施し、2010年4月より同社の持分比率は27.50%から40.14%となっております。
(注3) ヌサ・テングラ・マインク(12月決算)が43.75%の持分を保有するNUSA TENGGERA PARTNERSHIPにおいて、インドネシア政府との鉱業事業契約に基づき、インドネシアBatujau銅・金鉱山の権益保有会社であるNEWMONT NUSA TENGGERAの発行済株式を2009年11月に10%、12月に7%、2010年3月に7%売却しております。その結果、2010年3月末以降のヌサ・テングラ・マインクの権益保有持分は24.50%(当社持分は18.19%)となっております。
(注4) 当社はホリビア銀・亜鉛・鉛事業会社(12月決算)の権益保有持分を2009年3月に100.00%に買い増しておりますが、前年同期は権益保有持分35.00%で持分損益を認識しております。
(注5) 当社はORESTEEL INVESTMENTSの持分損益を半期毎に認識しているため、当第1四半期及び前年同期は持分損益を取り込んでおりません。

金属

業績概要

【10年度1Q実績:55億円 (前年同期比+27億円)】

・鋼材

海外スチールサービスセンター事業は、東南アジア域内や中国での製品需要増により回復。

・鋼管

北米鋼管事業では、需要増加や市況価格の上昇により堅調に進捗。

【2010年度の主な投資実績】

- ・シンガポール油井管加工/販売会社買収完了 (2010年6月) (7カ国10箇所に拠点展開)
- ・ブラジル新ミルの建設工事進行中

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	140	172	680
営業利益	34	69	-
持分法損益	8	17	-
当期純利益	28	55	170
総資産	2010/3末 6,092	5,856	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (当部門持分割合/全社持分割合) :	FY09.1Q	FY10.1Q	FY10見通し※
・SC Pipe Services :	5	4	15
・Asian Steel :	▲1	3	5
・住商メタルックス(90/100) :	1	2	9
・ERYNGIUM(29.19/97.3)* :	3	1	6

*FY09.1Qの持分比率は27/90

【事業概況】

- ・鋼材: 海外スチールサービスセンター事業の稼働率は上昇。(4-6月の稼働率はほぼ100%)
- ・鋼管: 北米鋼管事業では、石油・シェールガス開発用リグの増加により 油井管需要が堅調に推移する見通し。

Sumitomo Corporation

輸送機・建機

業績概要

【10年度1Q実績:97億円 (前年同期比+48億円)】

・自動車

インドネシア及び国内の金融事業好調。

・建機

中国は需要が底堅く、順調に進捗。
欧州は財政危機の影響により厳しい状況。

・船舶・航空宇宙・車輦

船舶事業堅調。

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	300	361	1,320
営業利益	39	105	-
持分法損益	22	30	-
当期純利益	48	97	185
総資産	2010/3末 13,993	13,838	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (当部門持分割合/全社持分割合) :	FY09.1Q	FY10.1Q	FY10見通し※
・SOF(89.6/99.6)* :	10	18	30
・Oto Murtiartha :	8	16	27
・住友三井オートサービス :	3	11	22

*FY09.1Qの持分比率は93.84/99.65

【事業概況】

- ・自動車: インドネシアの金融事業は順調に推移する見通し。
他自動車事業は市場によりバラつきはあるものの、全体としては回復傾向が続く見込み。
- ・建機: 中国については引き続き好調に推移する一方、欧州は当初想定したよりも回復が遅れる見込み。
- ・船舶: 堅調に推移する見通し。

Sumitomo Corporation

業績概要

【10年度1Q実績:6億円(前年同期比▲19億円)】

・IPP/IWPP

タンジュン・ジャティB電力事業減益。

・その他

モンゴル携帯電話事業他、海外通信事業が概ね回復。

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	69	50	210
営業利益	9	▲9	-
持分法損益	8	12	-
当期純利益	25	6	50
総資産	2010/3末		
	5,214	5,026	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (当部門持分割合/全社持分割合) :	FY09.1Q	FY10.1Q	(単位:億円) FY10見通し※
・MobiCom :	3	4	17
・Perennial Power Holdings(50.01/100) :	2	1	10

【2010年度の主な投資実績】

・インドネシア タンジュン・ジャティB拡張工事進捗。

【事業概況】

・電力・プラントEPC: アジア・中東・CIS等で大型案件が減少。

・IPP/IWPP: 計画通り進捗する見通し。

メディア・ライフスタイル

業績概要

【10年度1Q実績:40億円(前年同期比+20億円)】

・主要事業会社

ジュピターテレコム堅調。

(TOBIによる持分増加、子会社再編による税効果あり。)

住商情報システム増益。

・その他

映画制作・配給ビジネス改善。

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	419	434	1,890
営業利益	5	25	-
持分法損益	24	46	-
当期純利益	19	40	165
総資産	2010/3末		
	6,971	7,592	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (部門持分割合/全社持分割合) :	FY09.1Q	FY10.1Q	(単位:億円) FY10見通し※
・ジュピターテレコム*1 :	20	47	131
・ジュピターショップチャンネル :	24	22	93
・住商情報システム*2 :	1	6	21
・サミット(92.5/100) :	7	5	18
・アスミック・エースエンタテインメント :	▲7	▲0	1

*1 FY09.1Qの持分比率は27.73%, FY10.1Qの持分比率は40.14%

*2 FY09.1Qの持分比率は60.56%, FY10.1Qの持分比率は60.55%

【2010年度の主な投資実績】

・J:COM株式買い増し(2010年4月)

【事業概況】

・主要事業会社(ジュピターテレコム、ショップチャンネル、住商情報システム)が概ね堅調に推移。

業績概要

【10年度1Q実績:226億円(前年同期比+210億円)】

- ・銅事業: 価格上昇及び販売数量増加により増益。
- ・ポリビア銀・亜鉛・鉛(サンクリストバル)事業
価格上昇及び持分比率増加により増益。30(+25)
価格ヘッジ損益 ▲16(▲10)
- ・豪州石炭事業: 価格上昇及び販売数量増加により増益。
- ・北海油田権益: 油価上昇により増益。
- ・化学品
硫黄・硫酸ビジネス価格改善。
Cantex販売価格改善。

【2010年度の主な投資実績】

- ・バツヒジャウ権益一部売却(2010年3月)
- ・ブラジル鉄鉱山会社への出資基本合意(2010年6月)
- ・アンパトビープロジェクト進捗

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	126	340	1,050
営業利益	▲7	205	-
持分法損益	21	75	-
当期純利益	16	226	550
総資産	10,792	10,012	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (当部門持分割合/全社持分割合)	FY09.1Q	FY10.1Q	(単位:億円) FY10見通し※
・Sumiho Coal Australia :	9	90	158
・ヌサ・テンガラ・マイニング :	0	52	168
・ポリビア銀・亜鉛・鉛事業会社2社*1 :	5	30	114
・北海油田事業権益保有会社2社 :	▲2	10	30
・SC Minerals America(84.75/100) :	2	9	24
・SMM Cerro Verde Netherlands :	1	5	14
・エルエヌジー・ジャパン :	1	4	16
・Sumi Agro Europe(80/100) :	5	4	6
・住友商事ケミカル(75/100) :	1	4	11
・Petro Summit Pte.(80/100) :	9	3	11
・The Hartz Mountain(40.59/100) :	0	1	3
・スミトロニクス :	0	1	10
・Cantex(55/100) :	▲3	▲0	▲5
・Oresteel Investments(45/49) :	-	-	44

【事業概況】

- ・銅事業: 期初の想定を上回る価格で推移しており、堅調に推移する見通し。
- ・豪州石炭事業: 期初の想定を上回る価格で推移しており、生産も順調に進捗。
- ・Cantex: 住宅・商業施設着工低迷の影響続く。

*1 FY09.1Qの持分比率は35%, FY10.1Qの持分比率は100%

[資源権益持分生産量及びセンシティブティ]

	FY09 持分生産量実績	FY10 持分生産量見通し		センシティブティ (年間ベース/ 価格ヘッジ考慮前)	FY09 価格実績	FY10 価格見通し	
			1Q実績				1Q実績
原料炭	2.5百万t	2.2百万t	0.9百万t	1.2億円(\$1/t)	\$128/t	\$200/t	\$200/t
一般炭	2.2百万t	1.8百万t	0.5百万t	1.0億円(\$1/t)	\$70/t	\$98/t	\$98/t
鉄鉱石	1.1百万t	1.3百万t	-	0.4億円(\$1/t)	\$82/t	\$70/t	-
マンガン鉱石	0.3百万t	0.4百万t	-	0.1億円(\$1/t)	\$510/t	\$267/t	-
銅	8.5万t	7.3万t	2.0万t	2.7億円(\$100/t)	\$5,200/t	\$6,200/t	\$7,240/t
内、バツヒジャウ	5.6万t	4.4万t	1.3万t				
銀	501t (16.1百万oz)	376t (12.1百万oz)	109t (3.5百万oz)	6億円(\$1/oz)	\$14.7/oz	\$15.2/oz	\$16.9/oz
亜鉛	246千t	256千t	51千t	9.4億円 (\$100/t)	\$1,670/t	\$1,970/t	\$2,290/t
鉛	70千t	76千t	15千t	3.2億円 (\$100/t)	\$1,740/t	\$1,990/t	\$2,220/t
原油、ガス	4.1百万bbl	3.7百万bbl	1.0百万bbl	0.8億円(\$1/bbl)	\$63/bbl	\$75/bbl	\$77/bbl
LNG	12.2万t	30万t	7.3万t	-	-	-	-

備考) 価格は市場情報に基づく一般的な取引価格。原料炭、一般炭、鉄鉱石、マンガン鉱石: 持分出荷量を記載。
銀・亜鉛・鉛: 生産量はサンクリストバルプロジェクト100%ベース。(FY09.1Qの当社持分は35%、2Q以降は100%)

業績概要

【10年度1Q実績:39億円(前年同期比+15億円)】

・食料

バナナ事業は市況沈静化。
肥料ビジネスは前年同期、商品評価損あり。

・生活資材

TBCは市場が回復し、タイヤの販売本数が増加したこと等により増益。

・建設不動産

住宅分譲事業堅調。

【2010年度の主な投資実績】

- ・豪州穀物の港湾ターミナル/サイロ運営会社
100%子会社化(2010年4月)

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	241	239	1,060
営業利益	52	45	-
持分法損益	0	14	-
当期純利益	24	39	140
総資産	2010/3末		
	7,475	6,863	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (単位:億円)
(当部門持分割合/全社持分割合): FY09.1Q FY10.1Q FY10見通し※

・バナナ事業:	16	7	17
・TBC(40/100):	2	6	13
・Summit Rural WA(80/100)*:	▲13	▲2	4

*FY09.1Qの持分比率は50.01/100

【事業概況】

- ・食料: バナナ事業は堅調に推移する見通し。
- ・生活資材: TBCは順調に進捗する見通し。
- ・建設不動産: 堅調に推移する見通し。

新産業・機能推進

業績概要

(2009年度実績は、「金融・物流事業部門」の実績を記載しています。)

【10年度1Q実績:53億円(前年同期比+48億円)】

・三井住友ファイナンス&リース

クレジットコスト減少により増益。

・国内金融事業

前期、大口の貸倒有り。

・その他

三井住友ファイナンス&リース配当に伴う
税負債取崩益あり。

【2010年度の主な投資実績】

- ・中国天津における廃家電・廃電子機器リサイクル
事業に出資(2010年4月)

※2010年度通期見通しは2010年4月時点。(単位:億円)

	2009年度 1Q	2010年度 1Q	2010年度 通期見通し※
売上総利益	49	71	290
営業利益	▲23	4	-
持分法損益	17	39	-
当期純利益	5	53	50
総資産	2010/3末		
	5,546	5,684	-

【主要事業会社実績(当事業部門持分損益)】

会社名 (単位:億円)
(当部門持分割合/全社持分割合): FY09.1Q FY10.1Q FY10見通し※

・三井住友ファイナンス &リース(35/40):	19	37	68
・Sumisho Aircraft Asset Management(95/100):	0	1	4

【事業概況】

- ・三井住友ファイナンス&リースを中心に業績堅調。

オペレーティング・セグメント情報（補足）

2010年 7月 30日
住友商事株式会社
(単位：億円)

	2009年度 第1四半期	2010年度 第1四半期	増減
資源・化学品事業部門			
売上総利益	126	340	215
資源・エネルギー※1	33	238	205
化学品・エレクトロニクス※2	92	102	10
当期純利益（住友商事(株)に帰属）	16	226	210
資源・エネルギー※1	9	205	196
化学品・エレクトロニクス※2	6	21	15
総資産※3	10,792	10,012	-779
資源・エネルギー※1	8,224	7,518	-706
化学品・エレクトロニクス※2	2,566	2,493	-73
生活産業・建設不動産事業部門			
売上総利益	241	239	-2
食料事業本部	84	65	-19
生活資材本部	117	126	9
建設不動産本部	41	49	8
当期純利益（住友商事(株)に帰属）	24	39	15
食料事業本部	14	19	5
生活資材本部	2	9	6
建設不動産本部	8	12	4
総資産※3	7,475	6,863	-612
食料事業本部	1,823	1,567	-256
生活資材本部	1,668	1,630	-38
建設不動産本部	3,986	3,668	-318

※1 資源・エネルギーは「サンクリストバル・プロジェクト部」「資源第一本部」「資源第二本部」「エネルギー本部」の合計です。

※2 化学品・エレクトロニクスは「基礎化学品・エレクトロニクス本部」「ライフサイエンス本部」の合計です。

※3 「総資産」の2009年度第1四半期欄には2009年度末の実績を表示しております。